



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月22日

上場会社名 株式会社ヤマナカ 上場取引所 名  
 コード番号 8190 URL http://www.super-yamanaka.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中野 義久  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務部長 (氏名)清水 泰晴 (TEL)052-937-9310  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月24日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年3月21日~2019年12月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	72,087	△0.9	70	△87.5	147	△78.5	16	△96.6
2019年3月期第3四半期	72,736	△2.0	561	—	685	—	486	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △32百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 132百万円(△57.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	0.87	—
2019年3月期第3四半期	25.39	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	37,413	15,216	40.7
2019年3月期	36,493	15,441	42.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,216百万円 2019年3月期 15,441百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年3月期	—	5.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年3月21日~2020年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,300	0.3	400	△46.8	480	△46.4	200	△59.3	10.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	20,425,218株	2019年3月期	20,425,218株
2020年3月期3Q	1,270,431株	2019年3月期	1,270,411株
2020年3月期3Q	19,154,803株	2019年3月期3Q	19,149,909株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

- (注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式(2020年3月期3Q108,300株、2019年3月期108,300株)が含まれております。また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式(2020年3月期3Q108,300株、2019年3月期3Q113,248株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかな回復基調で推移する一方、米中貿易摩擦の長期化や欧州の不確実な政治情勢などの影響による輸出や生産の落ち込みも懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、業種・業態を越えた競争の激化や販売チャネルの多様化、10月の消費税増税による消費者の生活防衛意識の高まりや節約志向は依然として根強く、厳しい経営環境が続いております。

こうしたなか当社グループは、2022年の創業100周年を飛躍の年にするために、安定的に利益が出る基盤を作ることを目的に、「笑顔あふれる食品スーパーマーケットを極め、東海地区No.1の誇れる企業を目指す」というビジョンを掲げ、持続的成長に向けた構造改革に全社を挙げて取り組んでおります。

商品政策では、「ヤマナカならでは」の商品展開を推進し、日配品や米飯類の製造・販売を行う連結子会社のサンデイリー株式会社と共同で開発したオリジナル商品の展開や独自性の高いバイヤーいちおし商品の拡充等に取り組みました。また、幅広いニーズや各年代のお客様から支持いただける売場づくりを目指し、健康ニーズや時短ニーズの高まりに合わせた、低糖質・高タンパク商品の拡充や冷凍食品売場の拡大等、商品の見直しを実施しました。

販売政策では、お客様に当社の電子マネー付きポイントカード「グラッチェプラスカード」のお得感や買い物の楽しさを感じていただけるよう、ボーナスポイント商品の拡充やビンゴスタンプラリーの開催、電子マネーチャージキャンペーンなどを実施してまいりました。

店舗政策では、2019年7月に追進店（愛知県春日井市）、10月に豊田陣中店（愛知県豊田市）を新設し、両店においては同一施設内に連結子会社のプレミアムサポート株式会社が運営するスポーツクラブを新設しました。また、2019年9月に白土フランチ館（名古屋市緑区）及びアルテ新舞子（愛知県知多市）の2店舗の改装を実施するとともに、お客様のレジ待ち時間の短縮による利便性の向上やレジ業務の効率化を目的に安田店（名古屋市昭和区）など5店舗にセルフ精算レジを導入しました。一方、経営の効率化と収益性の改善を図るため、2019年6月に陽なたの丘店を閉店しました。

以上のような施策により、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は、前期及び今期に閉店した店舗の影響等により720億87百万円（前年同期比0.9%減）となりました。利益面では、消費増税後の販売促進策の強化による広告宣伝費の増加や新設店舗の経費増から、営業利益は70百万円（前年同期比87.5%減）、経常利益は1億47百万円（前年同期比78.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16百万円（前年同期比96.6%減）となりました。

なお、セグメント別の実績については、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億19百万円増加し、374億13百万円となりました。これは主に差入保証金が8億41百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ11億44百万円増加し、221億97百万円となりました。これは主に、有利子負債が7億23百万円、買掛金が5億61百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ2億24百万円減少し、152億16百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億75百万円、その他有価証券評価差額金が78百万円減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,402	2,971
売掛金	909	1,047
商品及び製品	2,606	3,085
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	47	48
その他	1,375	1,374
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,341	8,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,350	8,577
土地	9,806	9,809
その他(純額)	1,161	1,468
有形固定資産合計	19,318	19,855
無形固定資産		
借地権	357	335
ソフトウェア	293	278
その他	28	28
無形固定資産合計	680	643
投資その他の資産		
投資有価証券	3,093	2,983
差入保証金	4,142	4,983
繰延税金資産	62	59
その他	863	359
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	8,111	8,336
固定資産合計	28,110	28,835
繰延資産	42	49
資産合計	36,493	37,413

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,093	5,654
短期借入金	280	280
1年内償還予定の社債	1,220	1,240
1年内返済予定の長期借入金	916	1,419
未払費用	1,127	1,195
未払法人税等	110	41
賞与引当金	319	83
ポイント引当金	154	157
店舗等閉鎖損失引当金	5	17
資産除去債務	24	8
その他	2,050	2,328
流動負債合計	11,302	12,428
固定負債		
社債	3,190	3,120
長期借入金	3,528	3,641
リース債務	188	317
繰延税金負債	158	86
役員株式給付引当金	39	39
退職給付に係る負債	374	250
長期預り保証金	841	862
資産除去債務	1,325	1,349
その他	102	101
固定負債合計	9,750	9,768
負債合計	21,052	22,197
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,220	4,220
資本剰余金	6,538	6,538
利益剰余金	5,697	5,522
自己株式	△1,962	△1,962
株主資本合計	14,494	14,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,032	954
退職給付に係る調整累計額	△85	△56
その他の包括利益累計額合計	946	897
純資産合計	15,441	15,216
負債純資産合計	36,493	37,413

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年12月20日)
売上高	68,879	68,279
売上原価	51,542	51,130
売上総利益	17,336	17,149
営業収入	3,857	3,807
営業総利益	21,194	20,956
販売費及び一般管理費	20,632	20,886
営業利益	561	70
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	51	52
持分法による投資利益	16	2
受取保険金	37	4
情報提供料収入	37	37
補助金収入	1	38
その他	73	45
営業外収益合計	216	181
営業外費用		
支払利息	41	33
支払手数料	21	0
その他	29	71
営業外費用合計	92	104
経常利益	685	147
特別利益		
固定資産売却益	20	-
投資有価証券売却益	90	-
特別利益合計	110	-
特別損失		
固定資産除却損	23	19
減損損失	-	102
特別損失合計	23	121
税金等調整前四半期純利益	773	25
法人税、住民税及び事業税	96	56
法人税等調整額	190	△47
法人税等合計	286	9
四半期純利益	486	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	486	16

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)
四半期純利益	486	16
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△380	△78
退職給付に係る調整額	26	29
その他の包括利益合計	△354	△48
四半期包括利益	132	△32
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132	△32
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。